

アポプラスキャリア ラーニングカフェ交流会 VOL. 6

となりの産業保健 担当者の実体験から知る、産業保健の世界



業種や従業員数、環境などの条件が違えば産業保健の実践手法もさまざまです。第6回は「となりの産業保健」と題して、理想と現実のはざまで揺れ動く日々の奮闘や葛藤を、ゲストスピーカーの経験を通じて理解し、産業保健の深い世界を学ぶ機会となりました。また、前回から進化した懇親会は7割が参加し好評を博しました。

開催日時：2025年2月21日 16:00-18:30

会場：新東京ビル4F SR MeetupSpace

講師：久保さやか／保健師

アポプラスキャリア株式会社

エグゼクティブアドバイザー



産業保健実践者が見据える“健康経営”への関心

今回もさまざまな企業で産業保健・健康管理に携わる21人が集い、特に保健師の方たちの参加が目立ちました。事前アンケートでは「健康管理部門へのイメージ」について問いかけ、現職着任前後の変化を比較し、ポジティブにとらえながら業務に奮闘している様子を共有しました。また、今後チャレンジしていきたいことは何かという質問では「健康経営」という回答が多く寄せられ、関心の高さがうかがえました。

各職種が相互理解し歩み寄り大きな力を育む

ゲストスピーカーは、大企業の健康管理推進室に事務職として長年携わり、現在は健康経営に尽力している高橋氏（仮名）。久保講師の突撃インタビューで産業保健のリアルを深掘りし、きれいごとだけでは語りきれない経験談を伺いました。高橋氏は、産業保健師をはじめ、各職種がていねいな会話を重ねて各職種と折り合いをつけたり、仲間づくりを通して関係性を育み、同じ方向を向いていくことの重要性を説明。それにより個の力が引き出され、企業の業績向上につながっていくと話しました。また、第一種衛生管理者として、社内に衛生委員会の重要性や健康の大切さを社内に広めるべく、さまざまな取り組みに挑戦した経験を話し、それが健康経営に直結したと述べました。

「人は宝」の思いを持って健康経営推進を

インタビューを終えて、参加者から寄せられた感想や質問に高橋氏が回答した後は、同じ会場を懇親会に模様替えし、参加者は交流を深めました。また、新企画「おかわりセッション」では、カフェオーナー・久保講師・高橋氏の3人が登壇。職場の雰囲気营造良好のために楽しく仕事をする心を心がけている高橋氏は、社内で保健師の認知度を高めるために、ネットワークとプラットフォーム作りが大事だと話しました。最後に「これからの企業は、人（社員）で勝負する時代。さまざまなスキルや考え方を持った人が集まり現場の問いに挑戦し続けることで、人が成長していく過程が重要だ」と話し、参加者は大きくうなづき活力を得ました。



参加者の感想

健康経営が経営に与えるインパクトを経営陣にしっかりと根気強く伝えていくことの大切さを知りました。



生の声・内情を聞けて「模索しているのは自身の会社だけではない」とホッとしました。また、仲間がたくさんいることに心強さも感じました。

お問合せ先

アポプラスキャリア株式会社

ヘルスケアソリューション事業部

カスタマーサクセス

〒100-0005

東京都千代田区丸の内三丁目3番1号

新東京ビル7階

TEL 0120-842-862

MAIL apc-kan543@ap-c.co.jp